



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社アシックス 上場取引所 東
 コード番号 7936 URL <https://corp.asics.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 廣田 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 林 晃司 (TEL) 078-303-2213
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト、報道機関向け電話会議）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	248,206	△13.3	3,279	△74.1	259	△98.0	△3,408	—
2019年12月期第3四半期	286,166	△3.2	12,677	△17.5	13,116	△3.8	6,928	△16.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △8,701百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 2,428百万円 (△75.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△18.64	—
2019年12月期第3四半期	36.79	36.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	334,401	140,701	41.9
2019年12月期	316,115	152,323	48.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 140,147百万円 2019年12月期 151,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.00	—	18.00	30.00
2020年12月期	—	0.00	—		
2020年12月期 (予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 2019年12月期年間配当金の内訳 普通配当24円00銭 創立70周年記念配当6円00銭
 2020年12月期年間配当金 (予想) の内訳 普通配当24円00銭

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△15.4	△6,000	—	△9,000	—	△17,000	—	△92.88

(注) 直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	189,870,559株	2019年12月期	189,870,559株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	6,838,379株	2019年12月期	7,179,322株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	182,844,134株	2019年12月期3Q	188,295,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2020年11月6日（金）に電話会議による機関投資家、証券アナリスト、報道機関向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料については、開催同日に当社ホームページ

(https://corp.asics.com/jp/investor_relations/library/financial_summary) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 地域別売上高	12
(2) 在外子会社為替換算レート	12
(3) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の主要な取り組み

世界的な新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)拡大により、各種競技大会の中止や規模の縮小、直営店の一時的な閉店、個人消費の冷え込み等、厳しい状況が継続しました。しかし、一定の制限のもとで経済活動が再開され、第3四半期連結会計期間において売上高は前年同期間比2%の増収、営業利益は75%の増益となるなど、状況は改善に向かいました。

✓コロナ禍の中、下記の取り組みを行いました。

① デジタル

全世界におけるECの売上高は引き続き伸長し、前年比では北米では+149%、欧州では+131%、連結では+102%でした。多くのマラソンが中止される中、ASICS Runkeeperを活用したGold Coast Virtual Marathonなどのバーチャルマラソン大会を全世界で約1,000大会を開催しました。また、バーチャル駅伝レース「ASICS World Ekiden 2020(アシックスワールドエキデン2020)」の開催を発表しました。これは、オンライン上で結成されたチームで「デジタルたすき」を繋ぐ新しい形のランニングイベントであり、全世界の人々と共にランニングを楽しむことができる機会を提供します。

② 販管費コントロール

筋肉質な財務体質の構築と収益性改善を目指し、グローバルで販管費の徹底的なコントロールに取り組みました。マーケティング費用や人件費等の削減を実施し、前年比で88億円、計画比で313億円の販管費削減を実施しました。

③ 在庫管理の強化

上半期に今後の販売予測を鑑み、生産および発注の一部をキャンセルするなど在庫圧縮管理を強化しました。併せて新商品の発売時期を変更し販売機会の適正化を図りました。これらの取り組みの結果、当第3四半期連結会計期間末の在庫高は、906億円と前連結会計年度末比で25億円の削減となりました。なお、前年同期間比では47億円の増加となったものの、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連在庫の増加45億円が含まれております。

✓パフォーマンスランニングでは、当第3四半期連結会計期間において、前年比+19%の売上を達成するなど、好調に推移しました。また、カーボンプレートを内蔵したアシックス史上最も先進的なランニングシューズの「METARACER(メタレーサー)」に続き、軽量で反発性に優れたモデルである「BLAST BEYOND SERIES(ブラストビヨンドシリーズ)」として、「DYNABLAST(ダイナブラスト)」と「VERSABLAST(バーサブラスト)」を市場投入しました。

✓オニツカタイガーでは、ヴァレンティノの2020年秋冬メンズコレクションにて発表された、ヴァレンティノとのコラボレーションスニーカーを発売いたしました。また、6月10日に上海の南京路に旗艦店を、7月27日にロンドンの中心街であるリージェントストリートに直営店をオープンしました。

✓地域別では、パフォーマンスランニングが好調なことから、当第3四半期連結会計期間において、欧州では前年比+26%、中華圏では前年比+11%の売上成長となりました。

✓サステナビリティでは、事業活動での使用電力を100%再生可能エネルギー化することを目指す企業で構成される、国際的な環境イニシアチブ「RE100」に加盟しました。

環境配慮への施策の一環として、直営店で商品ご購入時にショッピングバッグ(紙袋)をご利用されないお客さまに対し、次回のお買い物からご利用頂ける「Thanks(サンクス)ポイント」を進呈するという新たな取り組みの開始を発表しました。なお、当社は2020年から全世界の直営店で使い捨てプラスチック製ショッピングバッグを廃止し、環境配慮型紙製ショッピングバッグへ切り替えを行っております。

①売上高

感染症拡大の影響もあり、売上高は248,206百万円と前年同期間比13.3%の減収となりました。

②売上総利益

上記減収の影響により、116,108百万円と前年同期間比13.6%の減益となりました。

③営業利益

広告宣伝費などの減少はあるものの、上記減収の影響により、営業利益は3,279百万円と前年同期間比74.1%の減益となりました。

④経常利益

上記に加え、新興国通貨の下落の影響による為替差損の計上などにより、経常利益は259百万円と前年同期間比98.0%の減益となりました。

⑤親会社株主に帰属する四半期純損失

上記に加え、米国子会社において法人税等還付税の計上があったものの、店舗休止等損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,408百万円となりました。

カテゴリー別の業績は、次のとおりであります。

なお、一部カテゴリーについて算出方法を変更したことに伴い、前第3四半期連結累計期間の実績を組み替えて表示しております。

(単位：百万円)

(カテゴリー)	売上高			営業利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (△は減)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (△は減)
パフォーマンスランニング	126,728	122,204	△4,524	4,945	9,511	4,566
コアパフォーマンススポーツ	33,059	27,122	△5,937	△86	△607	△521
スポーツスタイル	25,499	22,288	△3,211	151	△32	△183
アパレル・エキップメント	29,753	21,186	△8,566	赤字	赤字	—
オニツカタイガー	35,008	25,432	△9,576	7,599	1,450	△6,149

① パフォーマンスランニング

売上高は、欧州、中華圏、オセアニア地域で好調でしたが、他の地域では感染症拡大の影響により低調となり、122,204百万円と前年同期間比3.6%の減収となりました。営業利益につきましては、9,511百万円（前年同期間比92.3%の増益）となりました。

② コアパフォーマンススポーツ

売上高は、27,122百万円と前年同期間比18.0%の減収となりました。営業損失は607百万円となりました。

③ スポーツスタイル

売上高は、22,288百万円と前年同期間比12.6%の減収となりました。営業損失は32百万円となりました。

④ アパレル・エキップメント

売上高は、21,186百万円と前年同期間比28.8%の減収となり、引き続き営業損失となりました。

⑤ オニツカタイガー

売上高は、25,432百万円と前年同期間比27.4%の減収となりました。営業利益につきましては、1,450百万円（前年同期間比80.9%の減益）となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 日本地域

売上高は、感染症拡大の影響もあり、70,987百万円（前年同期間比23.1%減）となりました。

上記減収の影響などにより、セグメント損失は1,639百万円となりました。

② 北米地域

売上高は、感染症拡大の影響を受け、48,798百万円（前年同期間比18.9%減）となりました。セグメント損失は2,666百万円でした。

③ 欧州地域

売上高は、感染症拡大の影響を受け、68,429百万円（前年同期間比4.3%減）となりました。

粗利益率の改善に加え、販売費及び一般管理費削減などもあり、セグメント利益は5,447百万円（前年同期間比163.3%増）となりました。

④ 中華圏地域

売上高は、感染症の影響を受けたものの、パフォーマンスランニングが好調であったことにより、30,956百万円（前年同期間比3.8%増）となりました。

セグメント利益は4,258百万円（前年同期間比17.2%減）となりました。

⑤ オセアニア地域

売上高は、パフォーマンスランニングおよびスポーツスタイルが好調であったことにより、14,095百万円（前年同期間比11.5%増）となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響などにより、1,921百万円（前年同期間比36.4%増）となりました。

⑥ 東南・南アジア地域

売上高は、感染症拡大の影響もあり、6,147百万円（前年同期間比30.9%減）となり、セグメント利益は125百万円（前年同期間比85.6%減）となりました。

⑦ その他地域

売上高は、韓国および南米における感染症拡大の影響もあり、20,559百万円（前年同期間比26.4%減）となり、セグメント利益は343百万円（前年同期間比77.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産334,401百万円（前連結会計年度末比5.8%増）、負債の部合計193,699百万円（前連結会計年度末比18.3%増）、純資産の部合計140,701百万円（前連結会計年度末比7.6%減）でした。

①流動資産

現金及び預金などの増加により、235,951百万円（前連結会計年度末比10.0%増）となりました。

②固定資産

使用権資産、投資有価証券の減少などにより、98,449百万円（前連結会計年度末比3.1%減）となりました。

③流動負債

支払手形及び買掛金の減少などにより、70,424百万円（前連結会計年度末比13.2%減）となりました。

④固定負債

社債の増加などにより、123,275百万円（前連結会計年度末比49.1%増）となりました。

⑤株主資本

利益剰余金の減少などにより、149,198百万円（前連結会計年度末比4.0%減）となりました。

⑥その他の包括利益

繰延ヘッジ損益の減少などにより、△9,050百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2020年11月6日）公表いたしました「2020年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

前事業年度の有価証券報告書「第一部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスク」の「(22) 大規模自然災害等に関するリスク」において、感染症・伝染病等の流行を記載しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化した場合には、財政状態および経営成績に悪影響を及ぼすリスクがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,199	63,761
受取手形及び売掛金	65,191	63,495
商品及び製品	91,621	88,956
仕掛品	388	397
原材料及び貯蔵品	1,149	1,282
その他	18,464	20,289
貸倒引当金	△1,497	△2,232
流動資産合計	214,517	235,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,950	36,542
減価償却累計額	△22,723	△22,079
建物及び構築物(純額)	15,227	14,463
機械装置及び運搬具	3,716	3,957
減価償却累計額	△2,846	△2,965
機械装置及び運搬具(純額)	870	992
工具、器具及び備品	28,931	29,252
減価償却累計額	△21,880	△23,137
工具、器具及び備品(純額)	7,051	6,115
土地	5,797	5,799
リース資産	8,319	8,234
減価償却累計額	△3,816	△3,938
リース資産(純額)	4,502	4,296
建設仮勘定	847	1,868
有形固定資産合計	34,296	33,535
無形固定資産		
のれん	2,830	2,472
ソフトウェア	6,317	6,392
使用権資産	24,479	23,826
その他	6,734	8,284
無形固定資産合計	40,362	40,976
投資その他の資産		
投資有価証券	9,814	8,962
長期貸付金	59	51
繰延税金資産	7,844	7,489
その他	9,919	8,129
貸倒引当金	△698	△694
投資その他の資産合計	26,938	23,937
固定資産合計	101,597	98,449
資産合計	316,115	334,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,578	25,220
短期借入金	6,391	1,611
リース債務	7,237	7,819
未払費用	18,051	16,656
未払法人税等	2,282	2,557
未払消費税等	2,125	5,591
返品調整引当金	140	223
賞与引当金	549	931
資産除去債務	116	1
その他	10,640	9,810
流動負債合計	81,113	70,424
固定負債		
社債	40,000	80,000
長期借入金	15	2,500
リース債務	26,955	25,219
繰延税金負債	1,508	994
退職給付に係る負債	6,615	6,855
資産除去債務	1,228	1,264
その他	6,356	6,441
固定負債合計	82,678	123,275
負債合計	163,791	193,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	15,481	15,481
利益剰余金	126,967	120,105
自己株式	△10,959	△10,360
株主資本合計	155,461	149,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,054	1,064
繰延ヘッジ損益	3,438	831
為替換算調整勘定	△8,941	△10,679
退職給付に係る調整累計額	△306	△266
その他の包括利益累計額合計	△3,754	△9,050
新株予約権	475	411
非支配株主持分	141	142
純資産合計	152,323	140,701
負債純資産合計	316,115	334,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	286,166	248,206
売上原価	151,704	132,029
返品調整引当金戻入額	215	244
返品調整引当金繰入額	299	312
売上総利益	134,377	116,108
販売費及び一般管理費	※1 121,699	※1 112,829
営業利益	12,677	3,279
営業外収益		
受取利息	576	290
受取配当金	231	138
為替差益	472	—
補助金収入	559	316
その他	501	408
営業外収益合計	2,341	1,154
営業外費用		
支払利息	1,408	1,185
為替差損	—	2,359
その他	493	629
営業外費用合計	1,902	4,174
経常利益	13,116	259
特別利益		
固定資産売却益	147	9
投資有価証券売却益	2	70
特別利益合計	149	79
特別損失		
固定資産売却損	35	10
固定資産除却損	66	213
投資有価証券売却損	3	1
投資有価証券評価損	10	36
減損損失	—	99
割増退職金	—	※2 624
店舗休止等損失	—	※3 2,410
賃貸借契約解約損	—	200
特別損失合計	115	3,597
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	13,151	△3,257
法人税等	5,978	4,169
法人税等還付税額	—	※4 △4,022
法人税等合計	5,978	147
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,172	△3,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	244	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,928	△3,408

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,172	△3,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	△989
繰延ヘッジ損益	2,385	△2,607
為替換算調整勘定	△7,084	△1,740
退職給付に係る調整額	36	40
その他の包括利益合計	△4,744	△5,296
四半期包括利益	2,428	△8,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,223	△8,704
非支配株主に係る四半期包括利益	205	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
当座貸越極度額	188,500百万円	194,500百万円
借入実行残高	4,400百万円	－百万円
差引額	184,100百万円	194,500百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る補助金を受け入れており、販売費及び一般管理費から816百万円直接控除しております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
広告宣伝費	24,143百万円	20,149百万円
支払手数料	15,084百万円	14,931百万円
貸倒引当金繰入額	139百万円	1,008百万円
従業員賃金給料	29,747百万円	26,815百万円
賞与引当金繰入額	1,060百万円	1,062百万円
退職給付費用	767百万円	783百万円
賃借料	9,716百万円	7,713百万円
減価償却費	8,951百万円	9,167百万円

※2 割増退職金

欧州子会社の経営合理化に伴う特別退職金です。

※3 店舗休止等損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府・自治体からの要請等もあり、感染拡大の配慮から、日本・北米・欧州などにおいて、一部直営店を臨時休業致してございました。休業期間中に発生した直営店の固定費（人件費・減価償却費など）を、店舗休止等損失として特別損失に計上しております。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る補助金を受け入れており、上記特別損失から412百万円直接控除しております。

※4 法人税等還付税額

米国で成立したCARES Actに基づき、米国子会社にて計上した還付税額です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社およびその他の国内法人が、海外においては北米、欧州・中近東・アフリカ、中華圏、オセアニア、東南・南アジアの各地域を、アシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、亞瑟士(中国)商貿有限公司、アシックスオセアニアPTY. LTD. およびアシックスアジアPTE. LTD. などがそれぞれ担当しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	77,358	57,525	71,475	29,814	12,645	8,901	27,582	285,304	862	286,166
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15,005	2,616	19	—	—	0	334	17,976	△17,976	—
計	92,364	60,141	71,495	29,814	12,645	8,901	27,917	303,280	△17,114	286,166
セグメント利益又は損失	5,257	△3,853	2,069	5,144	1,408	873	1,507	12,407	269	12,677

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	57,481	48,771	68,408	30,956	14,095	6,146	20,397	246,258	1,948	248,206
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13,505	27	20	—	—	0	161	13,716	△13,716	—
計	70,987	48,798	68,429	30,956	14,095	6,147	20,559	259,974	△11,767	248,206
セグメント利益又は損失	△1,639	△2,666	5,447	4,258	1,921	125	343	7,790	△4,510	3,279

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは直営店舗、得意先店舗の臨時休業の影響を受けております。国内外における緊急事態宣言の解除やロックダウン措置の緩和などにより経済活動が徐々に再開していることから、現時点において入手可能な情報を基に会計上の見積りに反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は第1四半期連結会計期間から連結納税制度を適用しております。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 令和2年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	中華圏	その他	計
77,430	58,233	73,377	30,155	46,968	286,166

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	中華圏	その他	計
58,074	50,023	71,559	31,081	37,468	248,206

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	RMB	AUD	SGD
2019年12月期第3四半期 (円)	109.27	122.78	15.93	76.34	80.04
2020年12月期第3四半期 (円)	107.33	121.22	15.35	73.17	77.53
増減 (円)	△1.94	△1.56	△0.58	△3.17	△2.51
増減比 (%)	△1.8	△1.3	△3.6	△4.2	△3.1

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(3) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	△17.1	△3.1	7.0	16.3	△28.0	△16.4
	(邦貨)	△23.1	△18.9	△4.3	3.8	11.5	△30.9	△26.4
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	—	166.7	△14.5	42.4	△83.6	△69.5
	(邦貨)	—	—	163.3	△17.2	36.4	△85.6	△77.2
セグメント利益率 (%)		△2.3	△5.5	8.0	13.8	13.6	2.0	1.7